



第九たいはず

Beethoven

No.39 2017.3.23 通刊1229号 担当 motokyu

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX:027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

花粉シーズン真っ最中！乾燥もあり、大変ですよ！のども大切にケアしましょう♪
皆さん、次年度会員登録はお済ですか？！

◆ 先週のおさらい

♪ 島唄 ♪

島唄の深い歌詞の内容を良く理解した上で、歌いましょう。

- ・P32 2段目 A 歌い始めのユニゾンはたっぷり聴かせるかんじで。
- ・P35 1段目2小節 はなもちり の“は”をしっかりHを発音する

♪ 聞け みんな聞け(混声) ♪

- ・P48 1段目3小節 1, 2音目はスタッカートで。

♪ ジプシーの歌(カルメンと女声) ♪

- ・カルメンの踊りが入ります。皆さん動きを覚えてください。

♪ たばこ女工の合唱(女声) ♪

- ・たばこの煙の様子を手で表現してください。

◆ 皆さまへのお願い

ピアノを囲んでのパート練習等で録音をする際は、椅子を持ってくるなり、カバンの上に置くなどし、録音機をピアノの上に置かないようにしてください。楽器は繊細なものです。大切にしましょう。

◆ メイコンサートの出欠確認 本日まで

出席簿5月28日の欄に、メイコンサート本番当日出演できる方は「○」を、出られない方は「×」を、未定の場合は「△」を、**本日中**に記入してください。

◆ 特別練習追加のお知らせ

4月16日の特別練習が予定されておりますが、さらに5月4日(木)の通常練習の前に、16:00～18:00にも特別練習をしていただけることになりました。

両日ともソリストである出来田先生もご参加くださる予定です。ぜひ万障お繰り合わせのうえご参加ください。(4月16日の昼食・5月4日の夕食は各自でご用意ください。)

◆ カルメンの衣装について

前回、前々回と衣装見本の方々が登壇いたしましたが、ご参考になりましたでしょうか。4月6日と13日の練習時に衣装合わせをしますので、衣装を持参してください。(4月16日(日)の特別練習では実際に衣装を着けて練習します。)

また女性のスカートを希望される方は受付で申し込みができますのでお声掛けください。

◆ 第九専用携帯ができました 番号は 070-4455-2190 です

演奏会等、外部の方からの問い合わせに対応するため、専用携帯ができました。

◆ 今後の予定

- 4月16日(日) メイコンサート特別練習 10時～4時 (高崎市中央公民館)
5月 4日(木) 通常練習前の4時から6時まで特別練習を行います。
5月18日(木) 総会+ミニコンサート (練習会場)
5月28日(日) メイコンサート (群馬音楽センター)
6月 8日(木) 発声式 (練習会場) ※6月1日はお休みになります。

◆ 三枝成彰著「大作曲家たちの履歴書」⑥Verdi 赤羽 洋子先生

彼の残した作品の殆どがオペラで、交響曲の作曲はゼロ。「椿姫」「リゴレット」「アイーダ」「オテロ」「ファルスタッフ」「運命の力」「ドン・カルロ」etc、素晴らしいオペラを作曲しています。しかし外国語、さらには自国語の文法さえ間違えてしまうような無教養な男が、その信念とねばり強い努力で大作曲家にのし上がった～～ひと言でいうとそんな作曲家です。

生年月日 1813年10月10日(現在192歳)レ・ロンコレ(イタリア)
没年月日 1901年1月27日{116年前死亡}ミラノ(イタリア)
享年87歳 一過性脳虚血の発作
人種 父親カルロ(イタリア人)母親ルイジア(イタリア人)
容姿 超不愛想で無口なエゴイスト
好物・趣味 農作業、馬の飼育・ワイン、タバコ
友人関係 尊敬されても決して心を開かない
字名 熊・田舎者・野人
特徴 農民作曲家
配偶者 初婚マルゲリータ 再婚ジュゼッピーナ
収入 仕事に見合った報酬をシビアに請求した、
尊敬する作曲家 イタリア初期の巨匠たちを崇拝



1871年スエズ運河開通記念でカイロの為に依頼されたオペラ「アイーダ」ではオペラ史上最高金額15万フランが支払われた(現在の日本円でいくらなのか当時のレート不明)勲章や名誉に関しては全く執着せず、彼が欲しかったのは揺らぐことのない財産、すなわち土地であり地主という肩書だけだった。(彼以上に貧乏な出身の作曲家は皆無)農民作曲家と言われたのは土地を持つことが全てという価値観から生涯脱却できなかったからに他ならない

◆ いけばな展と男声合唱のコラボレーション

3月13日(月)シティギャラリーで行われた「いけばな展と男声合唱のコラボレーション」に行ってきました。たくさんのお花に囲まれた展示場で聴く合唱は初めてでした。客席は第九やJOYの団員さんのほか展示を見に来られた方が多かったようです。

岸先生の素敵なソロやメンネルコールJOYの皆さんの男声合唱の重厚なハーモニーに包まれ、しばし優雅なひとときを味わいました。最後はギャラリーのみなさんと「ふるさと」の大合唱。あっという間の時間に感じました。

(外處典子)



(左:稲葉さん、右:井澤さんの作品)写真提供:赤羽先生



(客席より撮影)